

## ブロック塀の安全措置について(お願い)

貴方の敷地内にあるブロック塀について、現在の法令に定める高さ等の基準に適合しないおそれ(※)があります。

地震等により、ブロック塀が倒壊したり落下したりした場合は、人命を脅かす危険性があるほか、その所有者に対しては損害賠償責任が問われる可能性もあります。

このことから、少なくとも、道路に面している部分について、建築士等の専門家と相談いただき、撤去を行うなど、安全措置を講じていただきますようお願いいたします。

### (※) 建築基準法の規定について

ブロック塀等の構造基準については、建築基準法で定められており、過去の災害を教訓に、何度か厳しい基準に見直しされています。(昭和56年6月より前に築造されたブロック塀については、旧基準で築造されている可能性があります。)

建設時に適法に築造されたブロック塀については、建築基準法上の違反を問われるものではありません(既存不適格)が、更新を行おうとする際には、現行基準に適合させる必要があります。

### 現在の法令に適合しない おそれのある事項

- 塀の高さが高すぎる
- 塀の厚さが足りない
- 控壁がない
- 基礎がない
- その他

( )

### 過去の地震によるブロック塀の倒壊事故 (死亡事故)

1978(S53)	宮城県沖地震
1987(S62)	千葉県東方沖地震
2005(H17)	福岡県西方沖地震
2016(H28)	熊本地震
2018(H30)	大阪府北部を震源とする地震

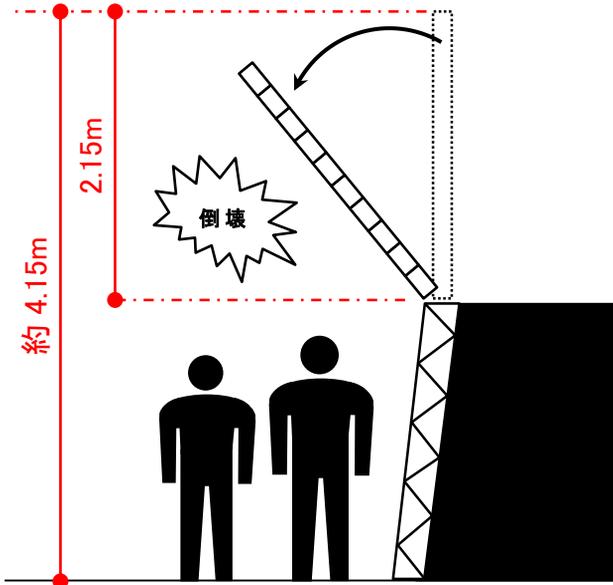
### 熊本地震によるブロック塀の倒壊訴訟等

2017(H28) 10月	刑事告訴 (11月20日 御船警察署が受理)
2018(H30) 3月	民事訴訟(損害賠償請求)提起 (熊本地方裁判所)

## 参考1

2016 (H28)  
4月14日

「熊本地震」により発生した  
ブロック塀の倒壊事故  
(熊本県益城町)



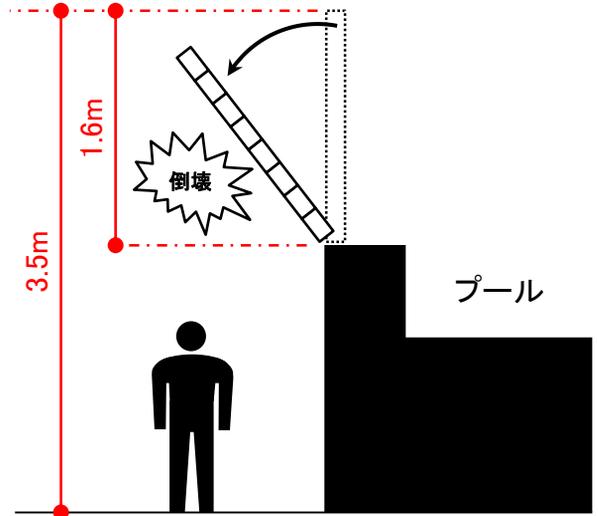
死亡(29歳・男性)

重症(57歳・女性)

## 参考2

2018 (H30)  
6月18日

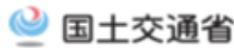
「大阪府北部を震源とする地震」  
により発生したブロック塀の  
倒壊事故(大阪府高槻市)



死亡(8歳・女兒)

国土交通省ホームページ (<http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/index.html>)

## ブロック塀の点検のチェックポイント



ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか
  - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
  - ・塀の厚さは10cm以上か。(塀の高さが2m超2.2m以下の場合には15cm以上)
- 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが1.2m超の場合)
  - ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。

- 4. 基礎があるか
  - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
  - ・塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 塀に鉄筋が入っているか
  - ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
  - ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2m超の場合)

組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。

